

2023年1月25日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2022年12月実績、2023年1月見通し)

[概況] 小企業の売上DI(12月実績)は、マイナス幅が縮小

1 売上

2022年12月の売上DIは、11月(▲4.3)からマイナス幅が2.3ポイント縮小し、▲2.0となった。2023年1月は▲3.9と、12月に比べマイナス幅が1.9ポイント拡大する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲1.3→▲8.8)ではマイナス幅が拡大した一方、非製造業(▲4.9→1.3)では上昇した。1月は、製造業で▲17.4、非製造業で▲1.5と、ともに低下する見通しとなっている。

2 採算

2022年12月の採算DIは、11月(▲13.3)からマイナス幅が3.2ポイント拡大し、▲16.5となった。2023年1月は▲10.0と、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

3 半期の景況感

2022年下半期の景況感DIは、2022年上半期(▲7.1)からマイナス幅が5.5ポイント縮小し、▲1.6となった。2023年上半期は、▲5.7と2022年下半期実績を下回る見通しとなっている。

＜調査の要領＞	調査時点	2023年1月5日～13日
	調査対象	当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおり)
	有効回答企業数	1,280企業
	回答率	85.3%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:星田、立澤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製 造 業（従業者 20 人未満）

卸 売 業（ 同 10 人未満）

小 売 業（ 同 10 人未満）

飲 食 店（ 同 10 人未満）

サービス業（ 同 20 人未満）

建 設 業（ 同 20 人未満）

運 輸 業（ 同 20 人未満）

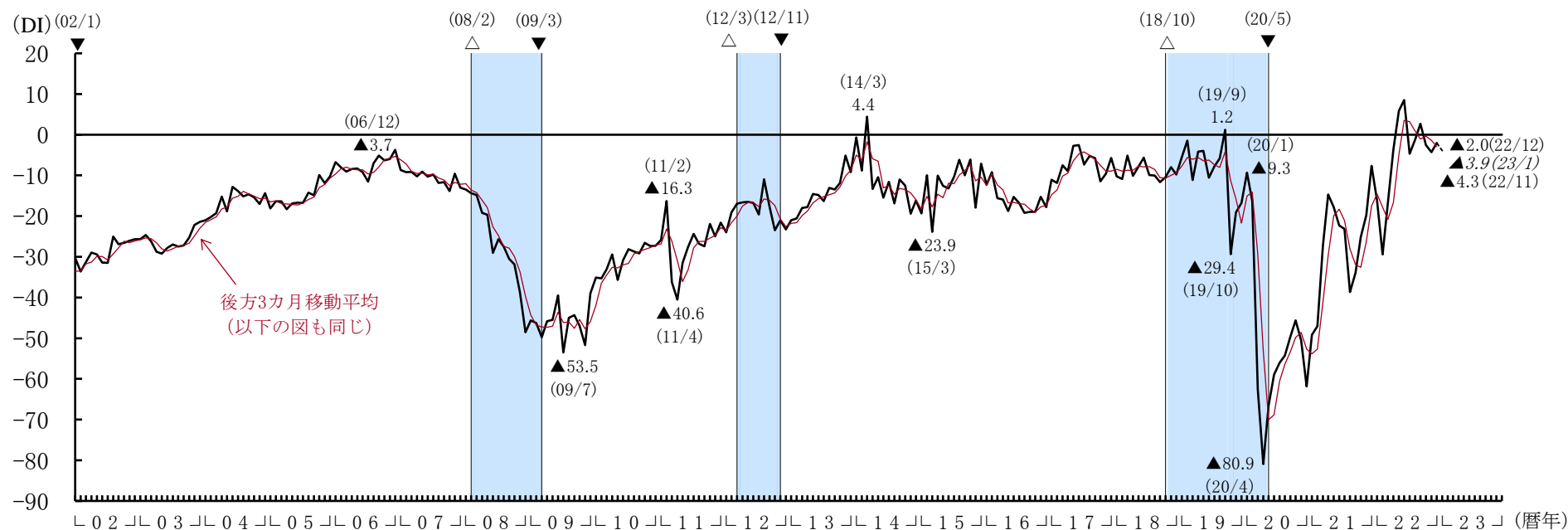
※総務省「経済センサス」における業種および地域構成に合うように、
データにウエートづけを行っている。

1 売上

- 12月の売上DIは、11月(▲4.3)からマイナス幅が2.3ポイント縮小し、▲2.0となった。1月は▲3.9と、12月に比べマイナス幅が1.9ポイント拡大する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲1.3→▲8.8)ではマイナス幅が拡大した一方、非製造業(▲4.9→1.3)では上昇した。1月は、製造業で▲17.4、非製造業で▲1.5と、ともに低下する見通しとなっている。
- 非製造業では、サービス業を除くすべての業種で上昇した。1月は、小売業と運輸業を除くすべての業種で低下する見通しとなっている。

図-1 売上DIの推移 (全業種計、季節調整値)

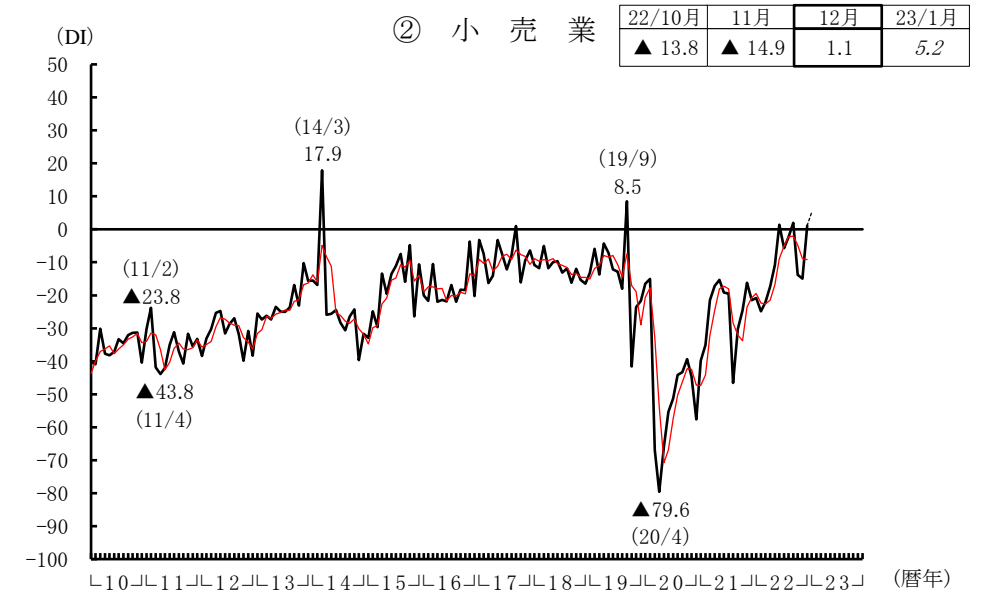
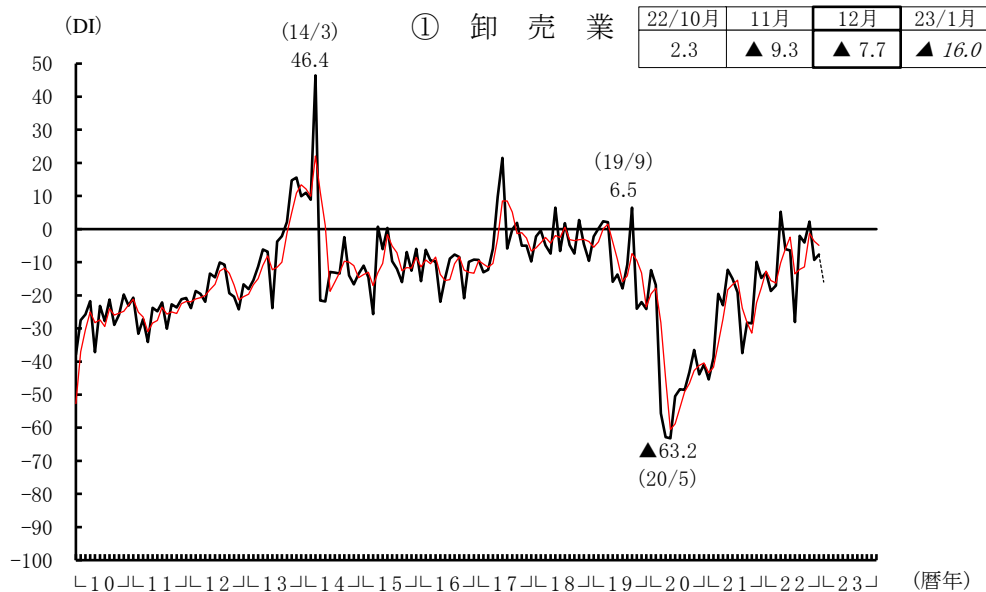
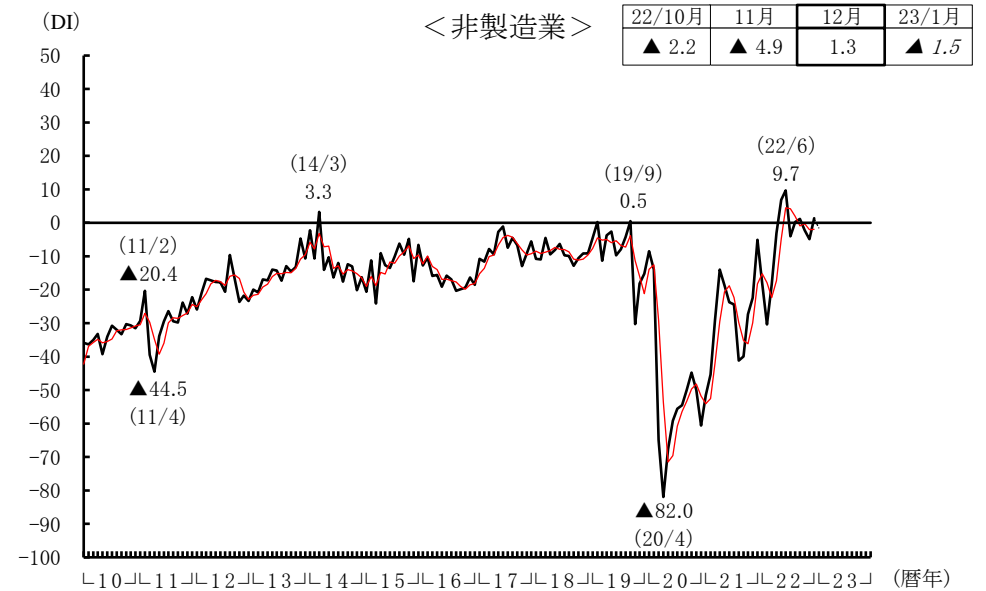
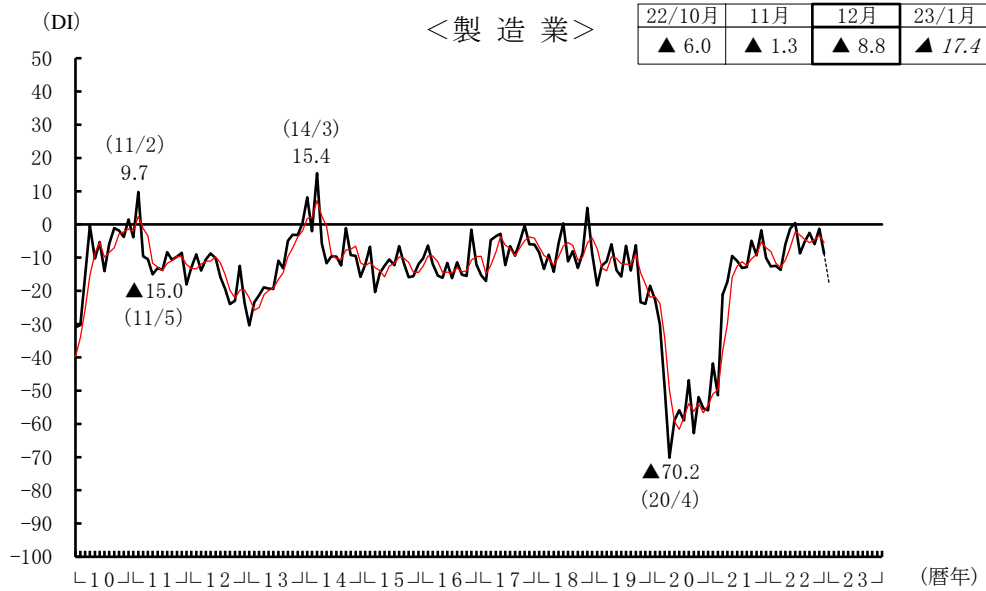
	2021/12月	2022/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023/1月
実績	▲7.7	▲16.2	▲29.4	▲16.9	▲3.7	5.8	8.5	▲4.7	▲1.2	2.7	▲2.6	▲4.3	▲2.0	-
見通し	▲16.1	▲17.2	▲32.9	▲26.9	▲14.6	5.2	7.4	2.1	▲10.4	▲3.7	▲4.9	▲4.3	▲7.6	▲3.9



(注) 1 売上DIは前年同月比で「増加」企業割合-「減少」企業割合。

2 ———は実績、-----は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す (図-3も同じ)。

図－2 業種別売上DIの推移（季節調整値）



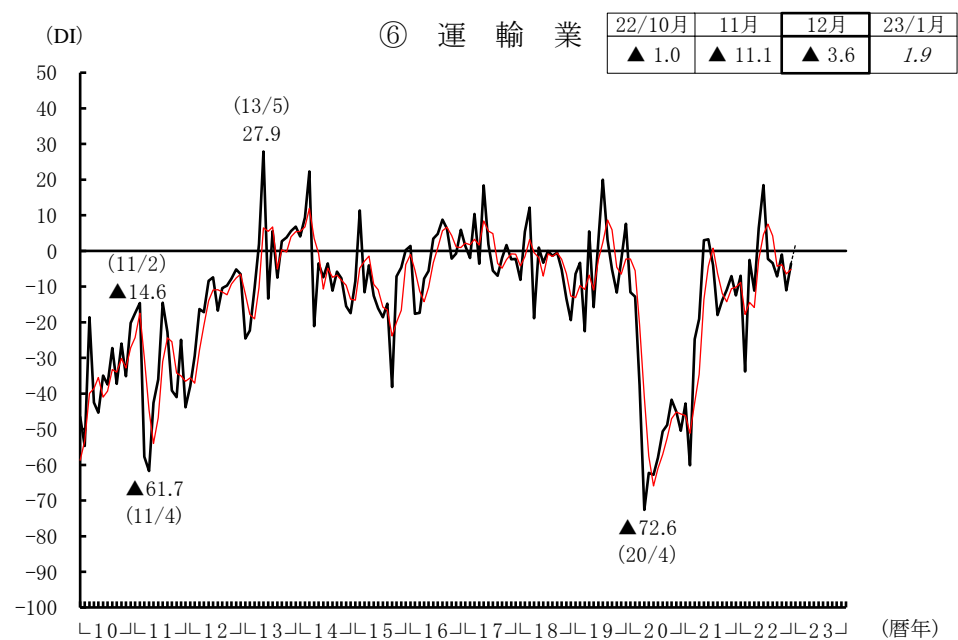
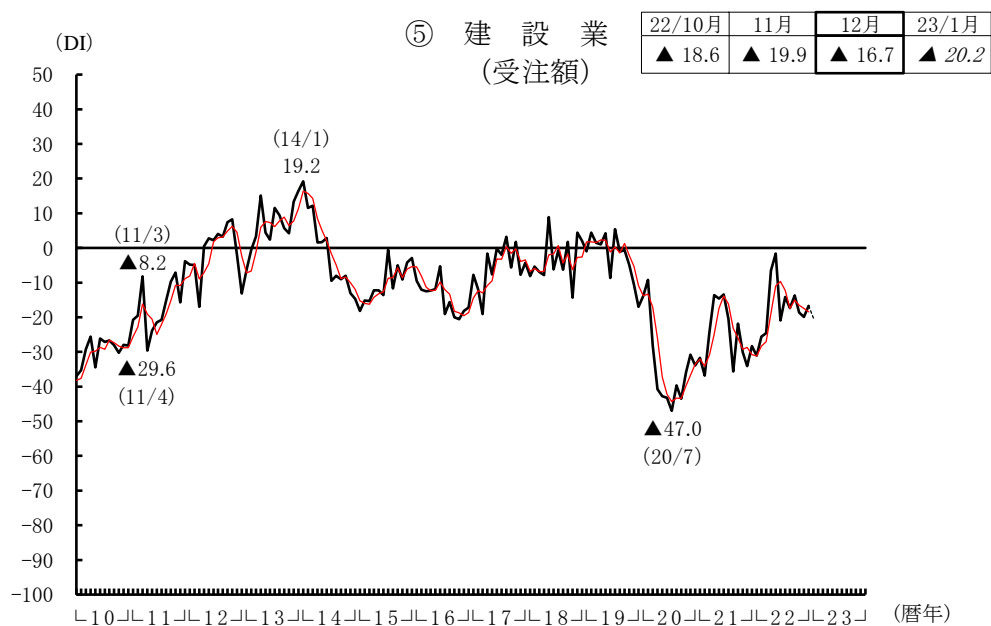
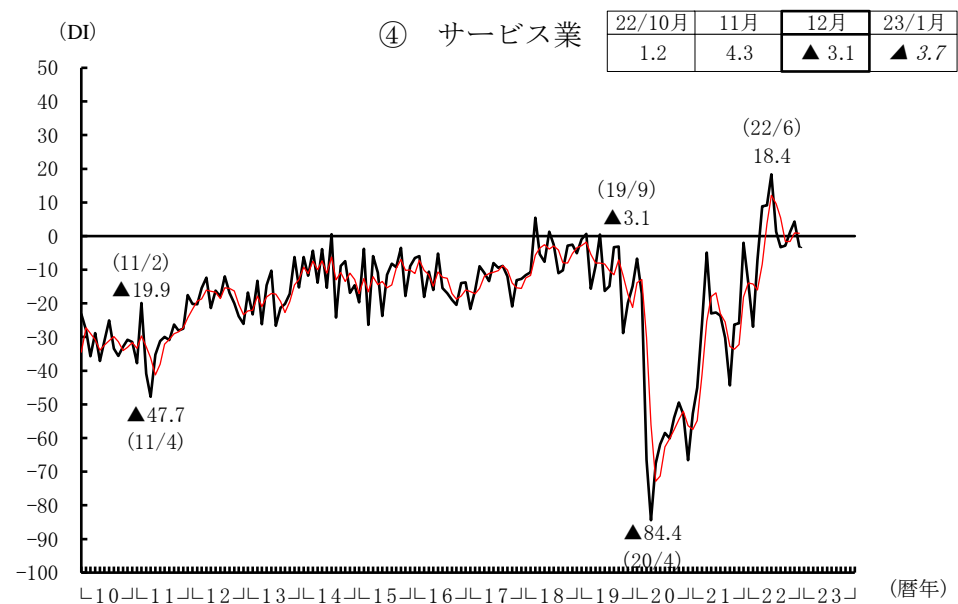
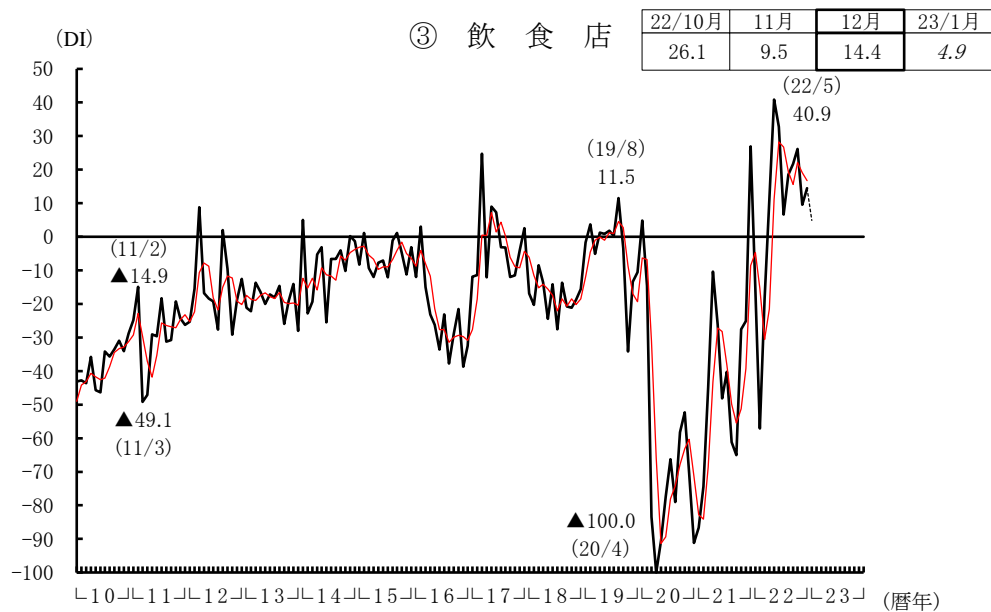


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

（見通し）

	2021年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	
製造業	▲13.1	▲12.8	▲4.9	▲9.3	▲1.7	▲10.1	▲12.7	▲12.4	▲13.7	▲6.0	▲1.3	0.4	▲8.7	▲5.2	▲2.6	▲6.0	▲1.3	▲8.8	▲17.4	製造業
金属・機械	2.3	0.1	10.0	3.7	13.2	5.2	▲2.9	▲2.2	▲11.9	1.4	▲3.2	8.2	▲4.6	▲6.7	▲5.0	▲11.0	▲3.3	▲20.2	▲12.3	金属・機械
その他製造	▲25.8	▲30.4	▲17.2	▲22.1	▲17.4	▲23.6	▲21.3	▲17.1	▲15.7	▲9.3	1.2	▲6.2	▲11.5	▲10.0	0.3	▲2.9	▲2.1	1.2	▲20.7	その他製造
非製造業	▲24.4	▲41.2	▲39.9	▲27.4	▲22.4	▲5.0	▲18.1	▲30.3	▲18.5	▲3.1	6.9	9.7	▲4.0	0.2	1.1	▲2.2	▲4.9	1.3	▲1.5	非製造業
①卸売業	▲19.0	▲37.5	▲28.3	▲28.4	▲9.9	▲14.8	▲13.2	▲18.7	▲17.1	5.3	▲6.1	▲6.4	▲28.1	▲2.0	▲4.0	2.3	▲9.3	▲7.7	▲16.0	①卸売業
織・衣・食	▲32.1	▲51.2	▲45.5	▲35.4	▲7.3	▲14.7	▲19.3	▲20.3	▲10.6	▲4.4	▲12.2	▲0.7	▲21.2	1.5	▲1.8	7.6	4.0	▲5.3	▲7.3	織・衣・食
機械・建材	▲10.0	▲23.0	▲18.4	▲21.9	▲9.8	▲12.3	▲11.3	▲18.8	▲19.6	7.5	▲6.4	▲9.8	▲32.8	1.2	▲7.7	0.3	▲16.6	▲6.2	▲21.0	機械・建材
②小売業	▲19.5	▲46.5	▲30.2	▲24.5	▲16.2	▲21.4	▲20.8	▲24.9	▲22.2	▲17.3	▲10.8	1.4	▲5.8	▲2.4	2.0	▲13.8	▲14.9	1.1	5.2	②小売業
耐久消費財	▲30.5	▲36.4	▲28.8	▲27.3	▲35.1	▲27.1	▲41.9	▲39.8	▲46.7	▲32.0	▲31.7	▲13.4	▲19.8	▲28.3	▲19.2	▲21.1	▲33.5	▲25.7	▲28.0	耐久消費財
非耐久消費財	▲17.8	▲47.4	▲30.0	▲23.4	▲11.8	▲19.4	▲20.2	▲22.8	▲17.9	▲13.8	▲5.5	5.0	▲3.6	4.2	6.8	▲11.7	▲10.7	7.6	12.3	非耐久消費財
③飲食店	▲40.2	▲61.2	▲65.0	▲27.5	▲25.1	26.9	▲16.0	▲57.1	▲18.5	11.1	40.9	32.8	6.6	18.5	21.7	26.1	9.5	14.4	4.9	③飲食店
④サービス業	▲23.6	▲30.3	▲44.4	▲26.3	▲25.9	▲2.0	▲13.8	▲27.0	▲7.1	8.8	9.2	18.4	1.4	▲3.3	▲2.8	1.2	4.3	▲3.1	▲3.7	④サービス業
事業所向け	▲25.1	▲19.4	▲24.5	▲10.0	▲4.9	▲5.9	▲18.9	▲14.6	▲2.3	4.5	5.0	▲2.1	10.1	2.1	▲4.8	5.0	▲8.2	▲10.7	▲5.6	事業所向け
個人向け	▲23.3	▲33.7	▲46.9	▲29.6	▲31.9	▲1.8	▲12.8	▲33.1	▲10.2	9.9	10.3	24.4	▲1.4	▲5.1	1.7	1.8	8.8	▲1.9	▲3.4	個人向け
⑤建設業	▲20.5	▲35.7	▲21.8	▲30.1	▲34.1	▲28.3	▲31.1	▲25.6	▲24.6	▲6.6	▲1.6	▲20.9	▲14.2	▲17.4	▲13.7	▲18.6	▲19.9	▲16.7	▲20.2	⑤建設業
⑥運輸業	▲4.0	▲18.0	▲13.8	▲11.0	▲7.1	▲12.5	▲7.0	▲33.8	▲2.5	▲11.2	6.4	18.4	▲2.3	▲3.4	▲7.1	▲1.0	▲11.1	▲3.6	1.9	⑥運輸業
道路貨物	▲4.5	▲14.3	▲8.3	▲13.0	▲10.3	▲18.6	▲6.8	▲23.1	▲9.9	▲17.7	▲4.8	9.2	▲17.1	▲15.5	▲21.9	▲13.8	▲25.2	▲12.7	▲4.1	道路貨物
個人タクシー	▲24.8	▲39.4	▲54.9	▲7.0	1.6	30.9	▲6.5	▲41.9	11.4	40.8	61.3	59.6	42.4	52.5	49.0	56.4	49.3	54.7	36.7	個人タクシー
全業種計	▲23.2	▲38.7	▲33.9	▲25.2	▲19.8	▲7.7	▲16.2	▲29.4	▲16.9	▲3.7	5.8	8.5	▲4.7	▲1.2	2.7	▲2.6	▲4.3	▲2.0	▲3.9	全業種計

（注）1 網かけは、前月から低下した数値。

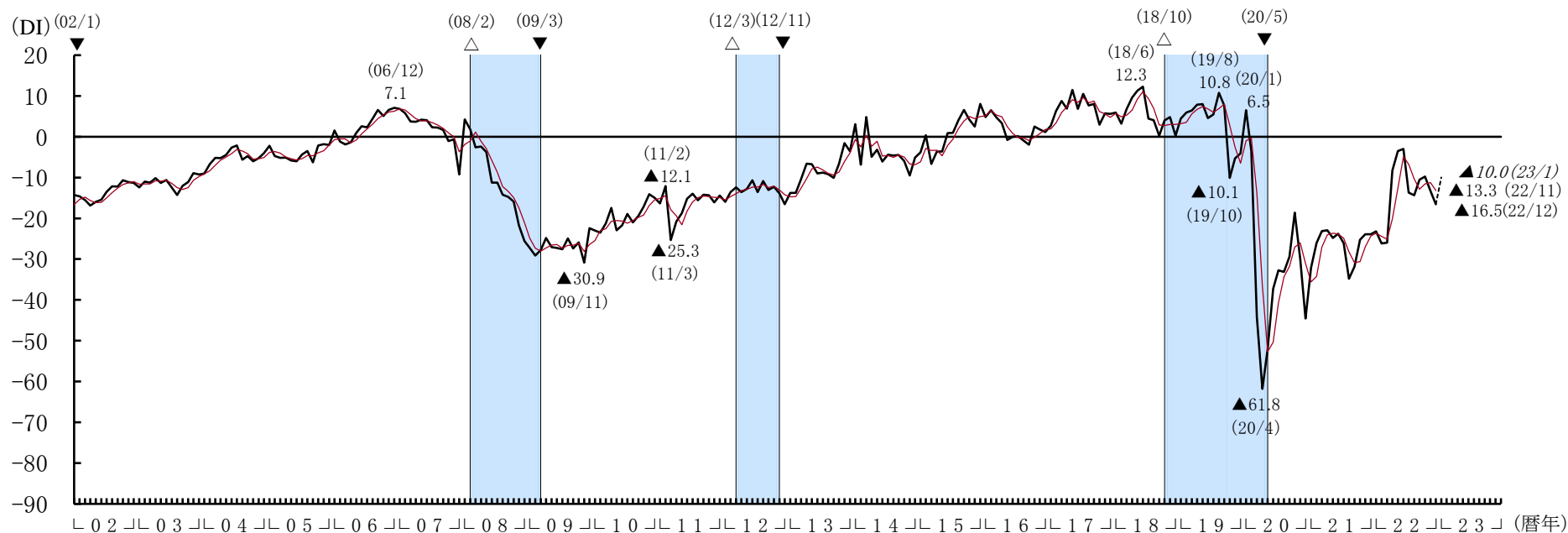
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 12月の採算DIは、11月からマイナス幅が3.2ポイント拡大し、▲16.5となった。
- 1月の採算DIは、▲10.0とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2021/12月	2022/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023/1月
実績	▲ 23.9	▲ 23.2	▲ 26.2	▲ 26.0	▲ 8.3	▲ 3.5	▲ 2.9	▲ 13.7	▲ 14.3	▲ 10.6	▲ 9.8	▲ 13.3	▲ 16.5	-
見通し	▲ 24.1	▲ 22.4	▲ 27.5	▲ 25.3	▲ 15.9	▲ 3.0	0.3	▲ 6.8	▲ 17.4	▲ 14.6	▲ 12.7	▲ 12.7	▲ 18.6	▲ 10.0

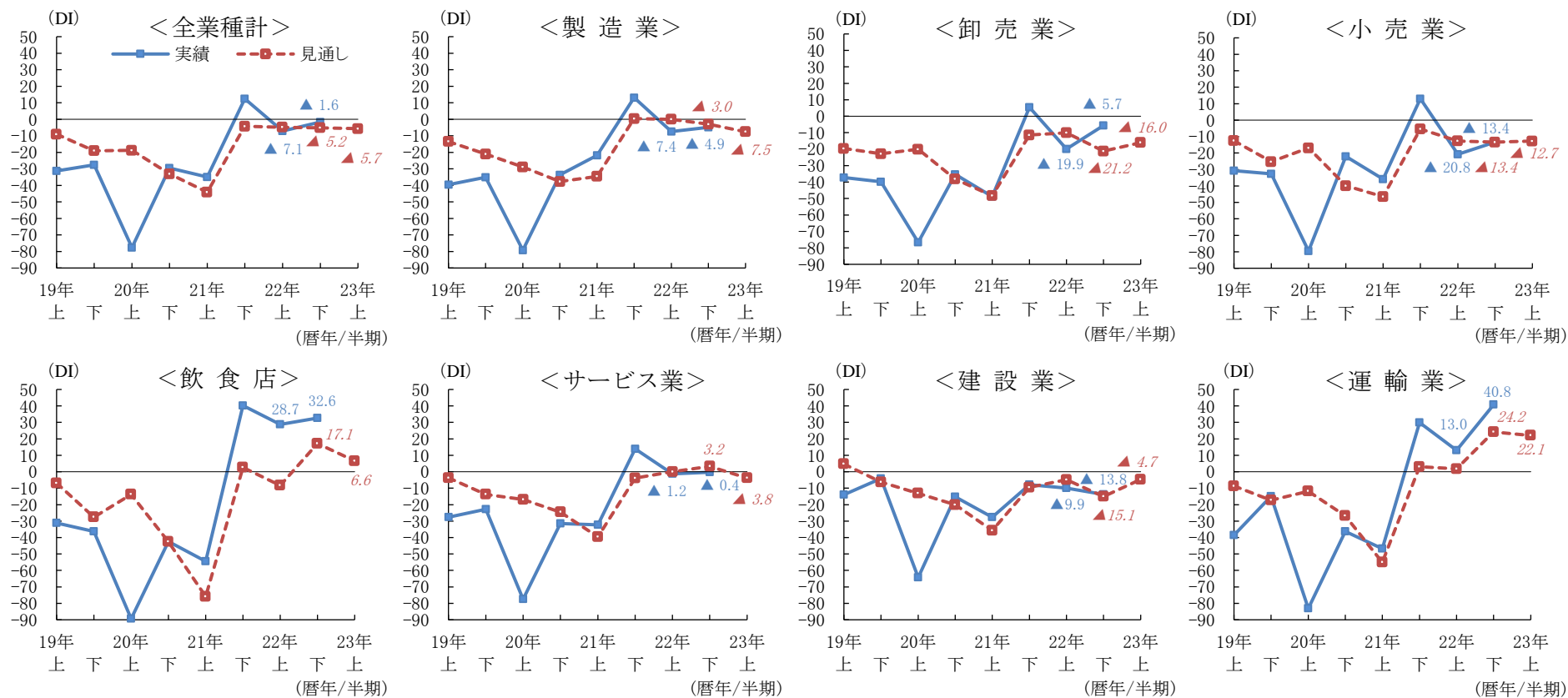


(注) 採算DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 半期の景況感（自社の業績や顧客の様子などから総合的に判断したもの）

- 2022年下半期の景況感DI(実績)は、2022年上半期からマイナス幅が5.5ポイント縮小し、▲1.6となった。業種別にみると、建設業を除くすべての業種で前期から上昇している。
- 2023年上半期の景況感DI(見通し)は、▲5.7と2022年下半期実績を下回っている。

図－4 景況感の推移



- (注) 1 景況感について、それぞれ前期実績と比べて尋ねている。
 2 DIは前期比で「上昇」企業割合－「下降」企業割合。